

令和2年度 事業報告書

公益財団法人 佐賀県消防協会は佐賀県民の生命、身体及び財産を火災その他の災害から守るため、消防思想の普及啓発、消防団員等の士気の高揚、消防の団結力を高め、消防技術の向上を図るための事業を行う。

1 公益目的事業1 (消防思想の普及啓発、消防団員の士気の高揚等の推進)

(1) 第67回佐賀県消防大会の開催

令和3年3月14日(日)佐賀県との共催により小城市三日月町、小城市生涯学習センター「ドゥイング三日月」で開催した。(参加人員制限300名)

(受賞披露)

◇叙位、叙勲	29名
◇内閣総理大臣表彰	
防火功労者表彰	3団
◇消防庁長官表彰	
功労章	1名
永年勤続功労章	46名
消防団等地域活動表彰(消防団表彰)	1団
緊急消防援助隊	5消防本部
◇日本消防協会表彰	
特別表彰まとい	1団
表彰旗	1団
竿頭綬	3団
功績章	21名
精績章	49名
勤続章	109名
優良婦人消防隊	1隊

(表彰)

○佐賀県知事表彰

功労章27名、永年勤続功労章63名、感謝状(退職消防団長)6名、消防団活動協力事業所2事業所、緊急消防援助隊協力事業所1事業所、優良自主防災組織2団体、優良少年消防クラブ1クラブ

○佐賀県消防協会表彰

竿頭綬(施設)2団、(教養)2団、功績賞60名、表彰状(女

性団員) 19名、感謝状(退職消防団長) 6名(退職消防長)
2名(消防事務担当者) 1名
「防火に関する標語」入賞者24名
小学生入賞者には父兄も同伴し、消防大会を熱心に見学していた。

(2) 全国消防殉職者慰霊祭

令和2年9月17日(木)、東京都ニッショーホールで開催される予定でしたが新型コロナウイルスの感染拡大防止のため佐賀県の遺族代表は対象外になり不参加となる。

(3) 広報宣伝

○ 消防思想の普及、防火啓発事業

消防防災意識の向上と防火防災思想の普及促進を図るため、貸出用のDVD「あさりちゃんの火の用心」「マジカルプータの火あそびは、あぶないよ」「火事から自分の命を守る生き抜くためのリスクウォッチ」「高齢者福祉施設の火災対応マニュアル」「電気なら安全?増加する家庭電気火災」を購入し、整備状況等については協会ホームページに公開した。

また、月刊ふらざ(佐賀市)、ハナビ(唐津市・旧東松浦郡)、むちゅう(伊万里・有田・武雄・杵島郡他)、月刊トス(鳥栖市・三養基郡)に消防団確保対策及び応援の店を記載し広報した。

○ 消防団員加入促進

地域防災の要である消防団員の確保のため、ホームページに常時、団員確保のお願いを記載している。

令和2年11月3日、12月19日サガン鳥栖サッカー試合会場イベント広場で、消防団募集活動を実施した。

(4) 表彰

○ 佐賀県消防協会定例表彰

県内の優良消防団(団員)・消防職員・消防協力民間団体を規定により表彰する、披露は佐賀県消防大会で行なう、協会ホームページでも公表した。

表彰審査委員会(正副会長4名・地区消防協会長4名・県消防長会長・常務理事計10名・以下同じ) 令和2年12月18日 実施

○ 日本消防協会定例表彰

日本消防協会表彰基準に基づき優良消防団(団員)・消防職員・女性消防隊(隊員)を表彰審査会で選考し、上申する。

表彰審査委員会 令和2年 8月11日実施

なお、受章者(団体)は、令和3年3月5日東京都で開催の第73回日本消防協会定例表彰式で表彰され、表彰物品等については3月10日と22日で県内市町、消防本部に配布した。

2 公益目的事業2（消防力を強化し、県民の安全・安心に寄与する）

(1) 消防操法大会

○ 第35回佐賀県消防操法大会 中止

令和2年7月26日（日）、佐賀県消防学校で開催予定であったが令和2年4月に消防庁及び日本消防協会から全国操法大会の中止連絡が来たので佐賀県消防操法大会について佐賀県関係者、消防協会役員、各地区消防協会長と協議の結果中止となる。

○ 第27回全国消防操法大会 中止

令和2年10月16日（金）千葉県市原市で開催される予定でしたが令和2年4月に消防庁及び日本消防協会と検討され全国操法大会が中止になる。

令和3年10月29日に第28回全国操法大会が開催される予定。

(2) 消防力強化促進

○ 第19回佐賀県女性消防団員活性化セミナー 中止

令和3年2月7日（日）佐城地区消防協会管内で開催する予定であったが新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止した。

また、事前に女性消防団員の部長、班長等幹部を対象にしたリーダー研修も中止する。

○ 第26回全国女性消防団員活性化徳島大会 中止

令和2年11月19日（木）徳島県徳島市で開催される予定であったが新型コロナウイルスの感染拡大防止のため延期連絡がきたため令和2年度は中止になり令和3年1月9日（火）に実施予定。

(3) 教養訓練事業

○ 消防団幹部地区別研修会 書面

消防団員を指揮監督する立場の消防団幹部（団長・副団長）の消防団の現状認識や問題意識の共有、情報交換を目的として県内4地区で実施する予定でしたが新型コロナウイルスの感染拡大防止のため佐賀県消防協会役員の判断で令和2年度は中止になり議題回答については書面で照会し結果を令和3年3月25日に各市町、消防本部に報告した。

令和3年1月19日佐城地区小城市 予定

令和3年1月20日三神地区基山町 予定

令和3年1月21日松浦地区有田町 予定

令和3年1月22日杵藤地区鹿島市 予定

○ 消防団長会議

令和2年5月27日（水）佐賀県自治会館（4階）大会議室で実施し、密集時間を短縮するために意見発表（消防職員3名、消防団長1名）を中止した。

- 県外視察研修 中止
県内の消防団長、消防団幹部、行政幹部と意見交換等を実施する予定でしたが第2回理事会で検討し今年度の研修は中止となる。
- 日本消防協会主催の各研修会 中止
日本消防協会主催の各研修会は中止となったが2月19日インターネットを活用した映像配信による研修が行われ受講した。
 - ・ 消防団幹部特別研修（団長又は副団長） 毎年1名（松浦地区消防協会）
 - ・ 消防団幹部候補中央特別研修（男） 毎年3名（杵藤地区消防協会）
 - ・ 消防団幹部候補中央特別研修（女） 毎年2名（佐城地区消防協会）

3 共益・その他事業

(1) 防火ポスターの募集

県内小中生を対象に各消防本部を通じて募集するもので、各消防本部は県協会の募集要項に基づき管内各小中校に応募をお願いします。応募した作品の中から2点を選考し県協会に提出、その中から2点を選び日本消防協会選考会に応募した。

県協会に応募した全作品は協会長表彰（記念品授与）を実施した。

(2) 防火標語の募集

佐賀県等と共催で県内小中高生を対象に防火標語の募集を実施する。
入賞者は佐賀県消防大会で表彰した。

(3) 弔慰金の贈呈

県協会会員である消防職団員が死亡した場合、遺族に弔慰金を贈呈している。

今年度については11名の遺族の方に贈呈した。

(4) 消防団員支援優遇制度

消防団員確保対策として、当協会と覚書を交換している各種事業所等で消防団員、その家族が飲食その他等で利用した場合、各種サービスが受けられる制度である。

この制度を充実強化するため、新たな企業に協力要請を積極的に実施し、現在85事業所1,000店が加盟している。

(5) 日本消防協会が実施する消防団員福祉共済事業等

- 消防団員福祉共済事業(福祉共済・火災共済・消防個人年金)の給付事務並びに加入促進を実施した。
- 福祉増進事業
消防団員福祉共済に加入者を対象に消防団員の健康保持を目的として健康器具等を購入し配布した。

4 法人会計

(1) 理事会

令和2年 5月（書面決議で実施する）

令和2年 5月27日（水）佐賀県自治会館

令和2年 8月11日（火）佐賀県自治会館

令和2年12月18日（金）佐賀県自治会館

令和3年 3月 9日（火）佐賀県自治会館

(2) 評議員会

令和2年 5月27日（水）佐賀県自治会館

令和3年 3月25日（木）佐賀県自治会館

(3) 市町消防団事務担当者会議

毎年9月に日本消防協会職員から事業説明を実施していて今年も実施する予定だったが新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止した。

(4) 日本消防協会会議

九州地区消防協会長会議鹿児島県開催予定だったが中止になる。

日本消防協会役員会議（評議員会）令和2年6月19日（金）開催予定が書面決議で実施される。

日本消防協会役員会議（評議員会）令和3年3月 5日（金）開催予定が書面決議で実施される。

都道府県消防協会事務局長会議令和3年2月26日（金）日本消防会館で実施予定だったが中止になる。

(5) 法人管理業務

公益財団法人佐賀県消防協会の運営に関して、必要な管理業務を行った。